



防災対策と新型コロナウイルス対策で 県民の生命と財産を守る千葉県政に！

みなさま、こんにちは。立憲民主党・千葉県議会議員 松戸市選出の安藤じゅん子です。7月5日に首都東京において四年に一度の大決戦が展開されました。結果は大多数の都民が現職の小池知事の継続を支持しました。

東京と隣接している千葉県は、今後もしっかり都や近隣の県とも連携し、新型コロナウイルス感染症対応や大雨、地震といった大災害に備えていかななくてはなりません。新型コロナウイルスに対しては、ワクチンや特効薬がない現段階では、厳しい状況が続くことが予想されます。まずは連帯。誰ひとり取り残すことなく課題に対し、インクルーシブな視点で取り組んでいかねばと考えます。

今般、千葉県では昨年の房総豪雨等一連の災害を教訓に千葉県地域防災計画の修正を行いました。県民一人ひとりの防災意識を高め、救える生命、財産はしっかり守る千葉県政にしていきたいと思います。引き続きのご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

議員報酬削減は10%削減へ 立憲の30%削減案は否決

安藤じゅん子が所属する立憲民主党会派は、コロナ禍において、県民の多くの方々の収入が減っているなか、県民の痛みを分かち合うことが必要であると考え、議員報酬等を30%削減するべきであると、4月30日の臨時議会から主張してまいりました。6月議会でも発議案を提出しましたが、自民党などから提出された10%削減案が可決されました。結果、8月から来年3月まで8カ月間、議員報酬は10%削減となります。

30%削減賛成会派(否決)

立憲民主、千葉民、平和党、市民ネット、リベラル民主

10%削減賛成会派(可決)

自民党、公明党、千翔会、共産党、県民声、
坂下議員、川井議員、田沼議員、市原議員

立憲会派では大川議員が代表質問に登壇

代表質問では、会派を代表して大川忠夫議員が登壇いたしました。代表質問は会派の議員に担当が割り振られ、それぞれの担当に関して調査、質問作成を行います。

今回の代表質問に関して、安藤じゅん子は新型コロナウイルス対策のクラスター対策に関する項目と、ひとり親家庭支援、児童虐待に関する質問を担当しました。

新型コロナ対策関連補正予算などの議案が可決

本議会では、14本の議案が原案可決となりました。主な議案は以下の通りです。

議案第1号・議案第15号

新型コロナウイルス感染症対策関連補正予算

- 医療従事者慰労金
- 医療提供体制強化
- 感染拡大防止対策
- 生活支援
- 学びの保障
- 中小企業再建支援金、県制度融資
- 農林水産支援としての学校給食食材提供



議案第2号

知事報酬20%削減

議案第4号

自動車税軽減延長、個人県民税寄附金控除特例

議案第8号

県道越谷流山線バイパスの江戸川を渡河する 仮称 三郷流山橋の下部工事請負契約

議案第10号

(仮称)千葉県立東葛飾地区特別支援学校工事請負契約

議長、副議長選について

議長・副議長が選出されました。

- ◎議長 山中操議員(自民)
- 副議長 木下敬二議員(自民)

議長・副議長とも多数派の自民党から選ばれました。

【議会選出の監査委員】の選任について

監査委員は、公正で効率的な行政を確保するために、地方自治法の規定により設置される独任制の機関です。

監査委員の選任方法や、監査委員の構成についてさまざまな議論があります。監査委員のうち、議員の中から選任されるいわゆる議選委員について、千葉県議会では2019改選後、定数2を自民党会派の独占が続き、他会派からの選出がありません。

立憲民主党会派は公正な行政を確保するという観点から今回の議選監査選任に同意しませんでした。

健康福祉常任委員会

新型コロナウイルス対策関連を中心に質疑

6月30日、健康福祉常任委員会が開催されました。委員会に付託された議案は、議案第1号、議案第15号の「令和2年度千葉県一般会計補正予算」と、議案第7号「千葉県病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」です。

●職員の残業時間について

残業時間が200時間をこえる職員がいた問題を指摘し、第二波においては業務が偏らないよう要望しました。

●施設個室化補助金対象について

間仕切りのみならずエアコンも補助対象であることを明らかにし、さらに安全対策を要望しました。

●医療従事者慰労金について

薬局薬剤師に対しても対象とすべきと要望しました。

●新型コロナウイルス感染症対策について

妊婦のPCR検査、全自動PCR検査機の導入、入院待機者への生活支援などを要望しました。

●市原乳児衰弱死事件について

目視確認、情報公開などを要望しました。

そのほか、今年度の相談支援専門員研修実施について、子宮頸がん予防ワクチンについて、ゲノム医療と予防切除について質疑しました。

鋸南町における台風15号災害進捗状況視察

復旧活動の支援を約束、今後の防災・減災の備えの参考に

7月10日、立憲民主党千葉県議会議員会9名で、鋸南町を視察しました。

鋸南町は去年の台風15号で、全世帯数3634世帯の57.4%にあたる2086世帯が被害に遭い、県内でも被害が大きかった地域のひとつです。高齢化率も高く、発災から10ヵ月経った現在でも、「何をどこへお願いしたらよいかわからない」「どんな支援制度があるかわからない」「なかなか工事業者がつかまらず、見積もりすら出せない」ので、助成期間を延長してほしい」といった声もありました。

被災現場の実態と、被災者の方々の声をお伺いし、復旧活動が進むように、行政へ働きかけることをお約束をいたしました。



毎年のように発生する、豪雨・台風災害は、決して人ごとではありません。明日にでも自分が当事者になりえます。災害が発生したときに、被害を最小限にとどめるためにも、県民の皆さんに防災意識を高めていただくとともに、県や基礎自治体では、防災・減災への万全の備えをしていけるように、議論を深めてまいりたいと思います。



プロフィール

安藤じゅん子(立憲民主党千葉県議会議員 松戸市選出)

1976年生まれ／2000年3月早稲田大学社会科学部卒業—2000年4月～2008年3月
出版社書店営業—2010年11月～2014年11月 松戸市議会議員—2015年4月～千葉県議会議員／役職:千葉県議会健康福祉常任委員会、立憲民主党千葉県議会議員会

FAX:050-3488-7708

Eメール:contact@andojunko.net

ホームページ

<https://andojunko.net/>

ツイッター

<https://twitter.com/andojunko>

Facebook ページ

「安藤淳子と少子化・子育てを考える会」

<https://www.facebook.com/andojunko0529/>

